

教科等の現状と課題及び授業の改善点

(第1学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	おおむね、授業に望む姿勢は良好であり、漢字の小テストにも意欲的に取り組む。しかし、基礎的な力をつけるため、家庭での学習の必要性を感じる。また、全体的に語彙力が低い傾向が見られる。	年間を通して、毎時間5分間の漢字小テストおよび意味調べを課し、語彙力の向上を図る。グループ学習を適宜取り入れ、生徒同士で「考える場面」を設定し、思考力・判断力を養う。また、単元ごとに単元テスト、自己評価、班評価を行い、自己の学習を振り返り、次回への課題を意識させる。	美術	授業に臨む姿勢は、おおむね良いが、集中して話を聞いたり、一人静かに考えを深めていくことが苦手な生徒がやや多い。制作には熱心に取り組む姿が見られる。	生徒の集中力に合わせ、時間を区切って説明したり、板書の指示を工夫していく。また、構想を練るために深く考えることの重要性を話し、できるよう支援していく。美術への興味が深まる授業の工夫を進めていく。ギャラリーに作品を飾ることで、お互いに鑑賞し、刺激し合えるよう計画する。
社会	社会科に対する関心・意欲・態度は、良好であり授業に熱心に取り組んでいる。範囲を示して行うテストについては、よく勉強して高い得点をとることができる。	基礎・基本を丁寧に教えていくことが重要である。歴史については、各時代の文化の特徴や産業の発展を確認しながら、授業を進めていく必要がある。各時代が単独ではなく、それぞれがつながりをもっていることを理解させたい。また、社会科で重要とされる社会的な事象への考察力も養う努力が必要である。	技術・家庭	集中力が持続しない生徒が見受けられる。また、授業の内容をノートにまとめられない生徒もいる。1時間の授業に対し生徒一人一人が課題意識を持って取り組むようにする。	1時間1時間の授業の目的、目標をはっきりと意識させる。毎時間の最後にノートをまとめる時間を設け、個別に指導をする。ノートは定期的に提出させ、評価と助言を行う。
数学	基礎的・基本的な内容を理解しても、定着しにくい傾向がある。正負の数の計算では単純な規則を忘れることも見られる。落ち着いて、そして、深く考えて取り組む姿勢を身につけていく必要がある。	問題練習を、さらに重視し頻度を増やす。また、前章に戻り確認テストを実施するとともに、その質、量とも高めていく。また、生徒の発表の機会を増やし、積極性、緊張感、集中力を育てる。	保健体育	男子：意欲的に取り組む生徒やなかなか自己の課題を見つけられない生徒や授業に集中できない生徒が混在している。 女子：意欲的な生徒いる一方で消極的な生徒もいる。比較的大人しい生徒が多い。更なる基礎基本の充実を図る。	男子：指示をする際にきちんと話を聞かせるようにする。また、自己の課題を明確に意識させるような助言や支援を心がける。 女子：基礎基本の充実を図るために、初めと終わりのあいさつを徹底させる。また、同じ事を繰り返し練習させ、1つ1つの種目の技能を高める。
理科	授業に臨む姿勢はほぼよいが、集中して話を聞く姿勢やノートをまとめる力は、訓練の必要性を感じる。観察や実験に積極的に取り組むことはできるが、手際よく行い、考察をまとめていく力をつけることが今後の課題である。	基礎・基本を丁寧に教えていくことを重視した授業を行う。観察・実験の回数確保に努め、慣れるようにさせる。実験・観察プリントを使い、まとめや考察を重視した指導を行い、思考力をつける。	外国語	授業に関する興味や関心は高く、話すことにも意欲的である。しかし書くことに消極的な生徒や集中力が持続しない生徒もいる。単語や英文を書く練習を日頃から習慣的に行い、書く力を身につけさせることが課題である。	週1回程度、授業の始めに5分ほどで行えるリスニングテストを実施し、集中して英語を聞く時間を作る。積極的な発言や大きな声での音読等を評価し、生徒に話すことへの自信を持たせたい。書くことについては、単元末に毎回単語テストを行い、不合格者は再テストを行うなどして、単語をきちんと書けるように指導を行う。
音楽	授業への姿勢や意欲はほぼよいが、個別な対応や配慮が必要な生徒が何名かいる。丁寧に話をすれば通じる。簡単な自己評価を、書かせている。	個別対応が必要な場合に、その個人への働きかけと同時に周囲への働きかけも同時に行っていく。全体的に授業に意欲的になり始めているので、そのことを大切にしながら、音楽の基本的な能力を伸ばしていく。	総合的な学習の時間	自ら課題を設定し、調査の方法を考えたり、相談したりすることができる。今後、より深く考え、計画を立てることを身につけさせる必要がある。課題を探求する力、分かりやすくまとめ、発表する力をこれから身につけさせる。	総合的な学習の時間に対する意識、意欲を高める必要があると考える。課題解決に向けた、意識を喚起する指導、調査方法、まとめ方、発表方法など、丁寧に指導していくことを重点として取り組む。
その他(道徳・特別活動等)					
道徳 個々の個性を生かし、集団が向上していくためには、物事を正しく判断し、様々な能力や考えをもつ友達との協力関係を築く必要がある。また、自主・自立の心を育て、規範意識についての指導を重点的に行う。					
特活 学級活動・生徒会活動・学校行事においては、ほとんどの生徒は中学生としての自覚をもって活動している。学年活動や学校行事では、学級や学年、学校への所属意識を高め、自己の責任と他者と協力する態度を育成していく。					